

奈良県道路整備委員会（第9回）議事録

日時：令和5年12月7日（木）

15時00分～17時00分

場所：奈良春日野国際フォーラム

薨～I・RA・KA～ 別館 会議室5

■委員からの主な意見

【山田委員長】

- ・道路整備の基本計画において、「道路の役割」（目的）を明確にする上で、①人やモノの移動の円滑化、②人やモノの移動の安全性向上、③地域経済の活性化（産業立地や観光促進など含む）、④地域の強靱化（有事における交通機能確保、平時の救急搬送の高速化）の4つの役割は外せない。「目指す姿と方向性」は、その役割を果たすために、どのような手段や制約条件の下で実施していくかを明記することになる。

【肥後委員】

- ・「4. 安全・安心を支える道路整備 ①災害に強い道路の整備」の中に、「効率的かつ効果的な道路防災対策の推進」と「重要インフラの防災・減災対策の推進」の項目がある。大局的には同じ内容のため、統一できるか検討してほしい。その上で、ハード面の「維持」「修繕」「更新」といった言葉を明示してほしい。

【西堀委員】

- ・資料に「公園のような道路」「救援する道路」という記載があり、「多様なモビリティ」についての話もあった。改定骨子（素案）の追加項目「1. 道路の役割」に記載していくとは思いますが、「3. 奈良県経済の進展に対応した目的志向の道路整備の推進」にも記載していくと良いと思う。
- ・DXを進めていく上で、データを「使う」だけでなく、「作る」「生み出す」ことも必要かと思う。必要なデータが全て確保できているか確認して、データを充実させてほしい。

【森島委員】

- ・奈良県の道路整備率が全国で47位とあるが、県民としては辛抱できない水準。脱却にむけてチャレンジしてほしい。
- ・本計画は5箇年の計画だが、5年間で色々なことがかなりのスピードで起こる。道路事業はロングスパンである一方で、項目によっては、技術的な進歩などを道路政策に反映させることが出来るよう考えてほしい。

【東田委員】

- ・改定骨子（素案）については、多岐にわたり追記・拡充しており、これで充分と思う。この基本計画を基に、早く集中的にどこから整備するか意識しながら、道路整備を進めていただきたい。

【山田委員長】

- ・「奈良らしさ」という視点で、観光や南部地域（防災）などがあると思う。「奈良らしさ」に対する意見もいただきたい。

【西堀委員】

- ・南部地域の防災の観点で、南海トラフの被害想定があるならば、それを基に強靱なネットワークのあり方を検討することも出来るかと思う。
- ・道路整備率も一つの奈良らしさかもしれない。「実際にどれだけの道路が出来上がって改良されたのか」など定量的に示すことが出来れば、良い説明材料になるのではないか。

【本日の議論のまとめ（委員長まとめ）】

- ・本日晒された改定骨子（素案）について、総論において、整理されている内容で問題ない。
- ・今後、本日の意見を踏まえて、細かいところをリバイスし、その内容をベースに「道路の役割」「目指す姿」「方向性」をしっかりと書いていくことになるかと思う。